

平成27年国勢調査を全国一斉に実施します

国勢調査は統計法という法律に基づき、日本に住む全ての人・世帯を対象として実施する統計調査です。

9月上旬から 調査員が訪問します



- ①調査員が皆さんの自宅を訪問し、調査書類（インターネット用ID）を配付します。
- ②インターネットでの回答を受け付けます。
- ③インターネットでの回答がなかった世帯に対し、紙の調査票を配付します。
- ④調査票を提出してください。



国勢調査 2015

総務省統計局

神奈川県・箱根町

照会先 総務防災課 ☎85-9561

9月10日(木)～12日(土)
①インターネット回答用IDを配付

9月10日(木)～20日(日)
②インターネットで回答

9月26日(土)～30日(水)
③調査票を配付

10月1日(木)～7日(水)
④調査票を提出


◆**国勢調査は回答の義務があります**
統計法では、正確な統計を作成するために、調査項目に回答する義務（報告義務）が定められています。
また、回答を拒んだり、虚偽の回答をしたりした場合の罰則も定められています。

◆**個人情報に厳格に保護されます**
国勢調査では、統計法により、厳格な個人情報保護が定められています。
インターネット回答における通信は、全て暗号化（SSL/TLS方式）されています。また、不正なアクセスなどの監視を24時間行っています。

・国勢調査従事者（調査員、地方公共団体の職員など）には、統計法による守秘義務が課せられています。

⚠ **国勢調査を装った「かたり調査」に注意！**

- ▶国勢調査では、金銭を要求することはありません。また、銀行口座の暗証番号や、クレジットカード番号などを聞くこともありません。
- ▶国勢調査を装った不審な訪問者や、不審な電話、Eメールなどに注意してください。不審に思った際には、回答をせず、速やかに総務防災課に連絡してください。
- ▶調査員は、その身分を証明する「国勢調査員証」を携帯しています。
※一部の地域では、調査員事務を「建物を管理する事業者等」に委託しており「国勢調査業務委託証明書」を携帯しています。



箱根ハートフルプログラムって僕たちにどんな効果があるの？



箱根ハートフルプログラムを通じて、クラスに主体的に関わるようになるのと、そこから責任を持つ、自分の存在を肯定的にとらえることができるようになるよ。
また、自分の意見を持つことはもちろん、それを相手に伝えたり、友達の意見を受け入れ尊重したりすることもできるようになるよ。それから、問題解決力が身に付くことも期待されているんだよ。



照会先 教育委員会学校教育課 ☎85-7600

幼稚園での取り組みを紹介 ～「箱根ハートフルプログラム」と地域の中で育てていくということ～

今年度から、少子化時代の教育として、従来の「子どもを育てる教育」から「人を育てる教育」に転換した町の教育方針。「箱根を愛し、かしく、やさしく、たくましく」を箱根教育の合言葉として、町立幼稚園・保育園・幼児学園、小学校、中学校では一貫教育に取り組み、子どもの「育ち」を重視した教育活動を行っています。

人を育てる教育
「箱根ハートフルプログラム」

「育ち」のための新たな教育として「箱根ハートフルプログラム」を始めました。幼児期から中学校卒業まで、12年間の発達段階に応じて行う系統的な「心の教育」で、人間関係づくりや人間性、社会性の育成を目指します。

幼稚園では国内初「ピースフルスクールプログラム」を導入
箱根ハートフルプログラムを展開するに当たり、町立幼稚園では「ピースフルスクールプログラム」を取り入れ「のびのびと心温かい箱根の子どもの育成」を目指していきます。

「ピースフルスクールプログラム」は、オランダで開発された教育プログラムです。楽しみ

ながらコミュニケーションの方法、友達との違いを認め助け合うことなどを学び、互いを尊重し合うことができる子どもを育てていきます。

幼稚園への導入は、箱根町が国内初です。平成28年度からは保育園と幼児学園にも導入していきます。小・中学校で系統的に心の教育プログラムを実践している自治体は数多くありますが、幼児期からの12年間にわたる実施例は少なく、画期的な取り組みです。

小規模だからこそ「地域」に密着できる強み
温泉幼稚園と箱根幼稚園は、いずれも規模の小さな幼稚園です。しかし小さいからこそ、子どもの発達や保護者のニーズに沿ったきめ細やかな幼児教育ができ、地域の人たちとの交流にも力を入れることができます。

◆**地域社会での「コミュニティ教育**
保育園や幼児学園でも取り組んでいる読み聞かせ、茶道、体操の日、健民祭など、地域の人を講師に招いたり、行事に参加したりしながら、地域での交流を大切にしています。また、温泉幼稚園ではキャンプファイヤー、箱根幼稚園では祭りの際の太鼓演奏など、それぞれ独自の

取り組みも行っていきます。

◆**交流保育活動**
温泉幼稚園と箱根幼稚園による合同運動会、就学前から園児同士が顔見知りになることを目的に、同じ箱根の森小学校通学区域内の宮城野保育園を加えた3園での交流保育、幼児学園も含めた5園での5歳児交流などを定期的に実施しています。

◆**預かり保育の充実**
箱根幼稚園では、教育時間終了後、14時～16時30分の通常の預かり保育に加え、保育機能実践研究として「延長預かり保育」を実施してきましたが、これを温泉幼稚園にも導入し、必要に応じて実施しています。

延長預かり保育の時間帯は、7時30分～8時30分と16時30分～17時30分です。

このように、町立幼稚園では、新たな教育プログラムの導入や地域コミュニティ活動、預かり保育など、幼児教育の充実と多くの人々の集う教育の場づくりに努めています。

これから就園年齢を迎えるお子さんがある家庭はもちろん、近所の皆さんも、ぜひ、幼稚園に足を運んで、園児たちの笑顔や成長に触れてください。

「山口家住宅主屋」が新たに国の登録文化財に登録へ

7月17日に開催された国の文化審議会で、大平台の「山口家住宅主屋」を登録有形文化財に登録するよう、文部科学大臣に答申がされました。

この建物は、富士屋ホテルの監査役や取締役社長を歴任した山口堅吉の住宅として、昭和5年に建てられた洋風住宅で、木造2階建ての「本館」に、木造和風平屋の「和館」が付属する構造です。

本館の外観は、ペンキで塗られた白い壁面による戸を備えた、縦長の上げ下げ窓という洋風意匠（工夫されたデザイン）に、棧瓦葺きという和風意匠が合わせられています。内部は、広い階段ホールを中心に配置された居間、食堂、書斎など主要な部屋のほとんどが、椅子の使用を前提にした洋室で、富士屋ホテルとともに箱根への洋風文化の導入を伝える貴重な建物です。

施工は河原徳次郎で、彼はこの建物の建設とほぼ同時期に、富士屋ホテル食堂（昭和5年）、花御殿（昭和11年）も請け負ったことで知られています。

和館は、米軍による富士屋ホ

郷土資料館臨時休館
10月3日(土)・4日(日)は、資料の殺虫・殺菌作業（燻蒸）のため、臨時休館します。
照会先 教育委員会生涯学習課郷土資料館 ☎85-7601



テルの接収（強制的な取り上げ）が終わりに近づいた昭和20年代後半に増築されたもので、外観内部ともに数寄屋風の意匠でまとめられています。

近く官報告示され、正式に国の登録有形文化財として登録される予定です。今回の新規登録により、町内の登録文化財建造物は40件（20か所）になります。

照会先 教育委員会生涯学習課 ☎85-7601